

機械器具 61 歯科用ハンドピース  
管理医療機器 ストレート・ギアードアングルハンドピース 70692000

特定保守管理医療機器 ストレートハンドピース EX-6

**\*\*【禁忌・禁止】**

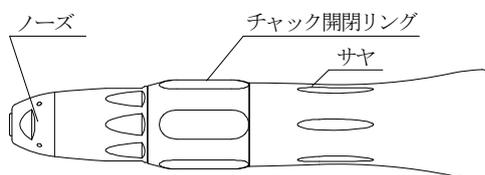
<使用方法>

- ・ 次のような歯科用回転器具(以降はバーという)を使用しないこと。
  - 曲がり、傷、変形、錆、欠け、折れ、傷などがみられるもの。
  - JIS規格外のもの。
 [破損によるけがのおそれ]
- ・ 取扱説明書に記載の「最大作業径径」を超えたバーは使用しないこと。
- ・ バーに過度の負荷をかけて使用しないこと。[けがのおそれ]
- ・ 本品回転中はチャック開閉リングを絶対に回さないこと。  
[破損又は発熱によるやけどのおそれ]
- ・ チャック開閉リングが開いている位置やバーを取り付けていない時は、モーターを回さないこと。[破損又は発熱によるやけどのおそれ]

**\*\*【形状・構造及び原理等】**

1) 構造

EX-6D



変速比	使用可能なバー
1:1	HPバー※1

※1:直径2.35mmストレートハンドピース用バー  
(JIS T 5504-1 軸部形式2)

2) 主な原材料

ステンレス鋼

3) 原理

歯科用電気回転駆動装置又は歯科用空気回転駆動装置の駆動源からの回転を爪クラッチで受け、スピンドルを介して、チャックで固定した歯科用バー等に伝達する。

**【使用目的又は効果】**

駆動源からの回転を等速のまま、歯又は義歯を切削又は研磨する歯科用バー等に伝達すること。

**\*\*【使用方法等】**

1) 使用前準備

- ① 使用前に必ず【保守・点検に係る事項】に記載の方法に従い、清掃、洗浄、注油、滅菌を行う。
- ② JIS T 5904 (ISO 3964) に規定されたジョイントを有する最高回転速度40,000min<sup>-1</sup>以下の歯科用電気回転駆動装置又は歯科用空気回転駆動装置のモーターに接続する。
- ③ チャック開閉リングを回し、使用可能なバーを装着する。
- ④ 【保守・点検に係る事項】に記載の方法に従い、使用前点検を行う。

2) 使用方法

モーターを作動させることにより、歯科用回転器具を回転させ、切削、研磨の作業を行う。

3) 使用后

ノーズからバーを取り外し、【保守・点検に係る事項】に記載の方法に従い、清掃、洗浄、注油、滅菌を行う。

[使用方法等に関する使用上の注意]

- ・ 使用する前に口腔外で空回転させた時、又は使用中に回転速度低下、バーの抜け、ガタ、振動、音、発熱等の異常を感じた時は、使用を中止すること。
- ・ バーの着脱の際は回転が完全に停止してから行うこと。
- ・ バーはチャック開閉リングを十分に回して着脱すること。
- ・ バーの浅咬みはしないこと。
- ・ 装着するバーのシャンクはゴミ等の付着がなくきれいなものを使用すること。
- ・ モーター、バーを取り付けた時、必ず軽く引いて確実に装着されていることを確認してから使用すること。
- ・ チャック開閉リングが確実に閉まっていることを確認してから回転させること。
- ・ 製造販売業者が指定しているバーの許容最高回転速度を超えないこと。
- ・ 治療部位に無理な力を加えて使用しないこと。

**\*\*【使用上の注意】**

1) 重要な基本的注意

- ・ 本品を取り扱う時は保護メガネ、マスク等を着用すること。
- ・ 酸化電位水(強酸性水、超酸性水)、強酸、強アルカリ性の薬剤、塩素含有の溶液、ベンジン、シンナー等の溶剤で洗浄、浸漬、拭き取りは行わないこと。

2) その他の注意

落下させる等の強い衝撃を与えないこと。

**\*\*【保管方法及び有効期間等】**

<耐用期間>

製造の日から、正規の保守点検(消耗部品の交換)を行った場合に限り7年間[自己認証(当社データ)による]とする。

**\*\*【保守・点検に係る事項】**

1) 清掃・洗浄・注油・滅菌

- ① 表面の汚れをブラシ(金属製は不可)等で払い落とし、消毒用アルコールを含ませた綿等で拭き取る。
- ② 製造販売業者指定のスプレー(以降はスプレーという)にEタイプスプレーノズルを取り付け、スプレーノズルを本品後部に差し込み、約3秒間注油を行う。
- ③ 滅菌パックに入れて135℃までのオートクレーブ滅菌を行い、使用時までパックに入れたまま、清潔な状態を保てる場所に保管する。

[推奨する滅菌条件]

高圧蒸気滅菌(オートクレーブ)

温度	時間
121℃	20分間
132℃	15分間

・注油に関する注意

- 製造販売業者の指定するスプレー以外のものを使用しないこと。[発熱のおそれ]
- 本品を確実に押さえ、スプレーの圧力によって飛び出さないように注意すること。
- スプレーは、本品先端よりオイルが出るまで(3秒以上)行うこと。
- 血液等が本品内部に浸入した場合、自動注油システムでは十分な洗浄、注油が行えないため、スプレーで洗浄、注油すること。[血液等が内部で凝固し、故障や発熱によるやけどのおそれ]

・滅菌に関する注意

- 滅菌前にスプレーで洗浄、注油すること。
- 滅菌直後は高温となっているため、取り扱いに注意すること。

取扱説明書を必ずご参照ください。

2) 使用者による保守点検事項

<使用前点検>

バーが確実に取り付けられているか確認すること。口腔外で回転させ、ガタ、振動、音、発熱に異常がないか確認する。(毎回)

**\*\*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売業者:株式会社ナカニシ

ナカニシお客様相談窓口

 0120-7242-56

受付時間 9:00～17:00(土日・祝祭日を除く)

TEL :0289-64-3380

FAX :0289-62-5636